

店舗一覧

明石市中央部	本店	明石市本町2-3-20	078(912)4567
	営業支店	明石市桜町11-14	078(911)8181
	丸支店	明石市大蔵天神町4-7	078(912)0337
	林崎支店	明石市林崎町1-4-20	078(922)7431
明石市西部	西明石支店	明石市西明石南町2-14-7	078(923)1101
	市場支店	明石市藤江2029-1	078(921)3020
	大久保支店	明石市大久保町駅前2-1-7	078(936)2165
	江井ヶ島支店	明石市大久保町江井島835-1	078(946)0623
	二見支店	明石市魚住町錦が丘1-12-1	078(947)6799
加古川市・高砂市・播磨町	加古川支店	加古川市加古川町寺家町311-3 (平成29年12月11日より下記仮店舗にて営業) (加古川市加古川町寺家町308-1)	079(422)6066
	宝殿支店	高砂市神爪1-10-2 加古郡播磨町南野添1-2-1	079(432)8711 079(435)3270
三木市・小野市・加東市	三木支店	三木市大村63-9	0794(82)5211
	緑が丘支店	三木市緑が丘町東2-9-1	0794(84)1231
	小野支店	小野市上本町237-2	0794(63)1135
	天神支店	加東市天神492	0795(47)1011
	滝野支店	加東市上滝野2413	0795(48)2010
神戸市東部	本魚支店	神戸市東灘区田中町3-3-3	078(431)1061
	六甲支店	神戸市東灘区魚崎南町7-7-7	078(411)3281
	西灘支店	神戸市灘区桜口町3-1-1-107	078(841)0141
	西灘支店	神戸市灘区岸地通4-4-15	078(802)1431
神戸市中央部	神戸支店	神戸市中央区小野柄通5-1-16	078(231)2731
	宇治川支店	神戸市中央区下山手通3-1-13	078(391)0222
	兵庫支店	神戸市中央区北長狭通7-3-5	078(341)4502
	平野支店	神戸市兵庫区浜崎通3-22	078(671)3443
	板宿支店	神戸市兵庫区上祇園町4-4	078(361)0411
	板宿支店	神戸市須磨区前池町3-4-1	078(735)6001
神戸市北部	鈴蘭台支店	神戸市北区鈴蘭台北町1-9-20	078(591)1221
	ひよどり台支店	神戸市北区ひよどり台2-1-2	078(743)1621
	藤原台支店	神戸市北区有野中町1-9-14	078(982)2489
神戸市西部	垂水支店	神戸市垂水区神田町3-10	078(706)2222
	伊川谷支店	神戸市垂水区西舞子2-14-21	078(784)8171
	玉津支店	神戸市西区池上2-21-8	078(975)0571
	玉津支店	神戸市西区王塚台7-96-1	078(928)6110
西宮市	西宮今津支店	西宮市今津出在家町1-6	0798(31)2489



日新信用金庫

フリーダイヤル イコー ニッシンバンク
☎0120-15-2489

(受付時間)平日午前9時から午後5時まで

URL <http://www.nisshin-shinkin.co.jp/>

〈にっしん〉

最新の決算ミニガイド

● 2018年5月 ●

We will make a fresh step everyday.



彫画:伊藤 太一

日新信用金庫

The Nisshin shinkin bank

ごあいさつ

平素は日新信用金庫に対し格別のご愛顧を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

日本国内の景気は、政府が推進する経済政策の効果により、緩やかな回復が続く、景気拡大が戦後2番目の長さには達しました。しかし、ここに来て米国の通商政策の不透明感、円高や原材料価格の上昇、人手不足の深刻化などにより足踏み状態になりつつあります。中小企業にあってはそれらを起因としたコスト増加に加え、経営者の高齢化、後継者問題など多くの経営課題に直面しています。

当庫を取り巻く収益環境は後継者問題にからむ中小企業者数の減少に歯止めがかからないことに加え、マイナス金利政策の継続による預貸金利ぎやの縮小傾向など厳しい状況が続くことが予想されます。

さて、当庫の平成30年3月末現在の預金残高は7,164億円、貸出金残高は3,361億円となり、おかげさまで当期純利益は1,386百万円を計上することができました。また、経営の健全性を示す自己資本比率は10.30%と十分な水準にあります。

決算の概況を次ページ以降にグラフを用いて分かりやすくまとめてみましたので、ご一読いただければ幸いです。

平成30年度は、中期3ヶ年事業計画「共創力～豊かな地域の未来を創る信用金庫を目指して～」の初年度の年であります。〈にっしん〉は「お客さま第一主義」を旨とし、地域経済がどのような環境下であろうとも、地域住民や中小企業の課題を解決するための支援や、的確で円滑な資金供給を通じて地域社会の持続的発展に貢献できるよう一生懸命に取り組んでまいります。

今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年5月

お客さまの安心・安全のための取組み

- 個人向けインターネットバンキングにおいて、ワンタイムパスワードをご利用されていないお客さまの1日あたりの利用限度額を10万円に引き下げさせていただきました。(H29.10)
- 「ATM(キャッシュカード・通帳)による現金出金限度額の一部引下げ」を実施しました。(H30.1)

絆(地域とともに持続的発展を)

- 【明石市子育ておうえん定期預金】の取扱い(明石市内の10店舗)(H29.4~H29.11)

※定期預金獲得額の一定割合を明石市の「明石市子ども基金」へ寄付し、「子ども夢文庫」等の運用に活用していただきました。



- 【神戸市子育ておうえん定期預金】の取扱い(神戸市内の17店舗)(H29.4~H29.11)

※定期預金獲得額の一定割合を神戸市に寄付し、神戸市総合児童センター「こべっこランド」等の運営に役立てていただきました。



- 「にっしん輝きメッセ2017」を開催(H29.9)
- にっしん経営塾を開催(神戸地区)全6回(H29.10~H30.3)

※明石地区、神戸地区、三木地区順に取り組んでいます。

- 第55期リフレッシュサロン開講 全6回(H29.10~H30.3)
- 「創業フェアひょうご2017」に参加(H29.10)
- ヴィッセル神戸サッカークリニックに特別協賛。(H29.11)

「ヴィッセル神戸サッカークリニック」を三木総合防災公園陸上競技場で開催。※サッカーが大好きな少年少女が、ヴィッセル神戸の現役Jリーガーと触れ合い、スクールコーチの指導を受けました。

- 「2017西日本B-1グランプリin明石」に協賛しました。(H29.11)
- 第9回明石公園パパたこリレーマラソンに特別協賛し金庫選抜5チーム(49名)が参加。(H29.12)
- ビジネスマッチングフェア2018に参画(H30.3)
- ラジオ関西に番組協賛(番組名:魅力満載!海峡通信)
- 明石ケーブルテレビに番組協賛(番組名:もうひとつのガイドブック)



鈴蘭台支店・加古川支店新築オープン

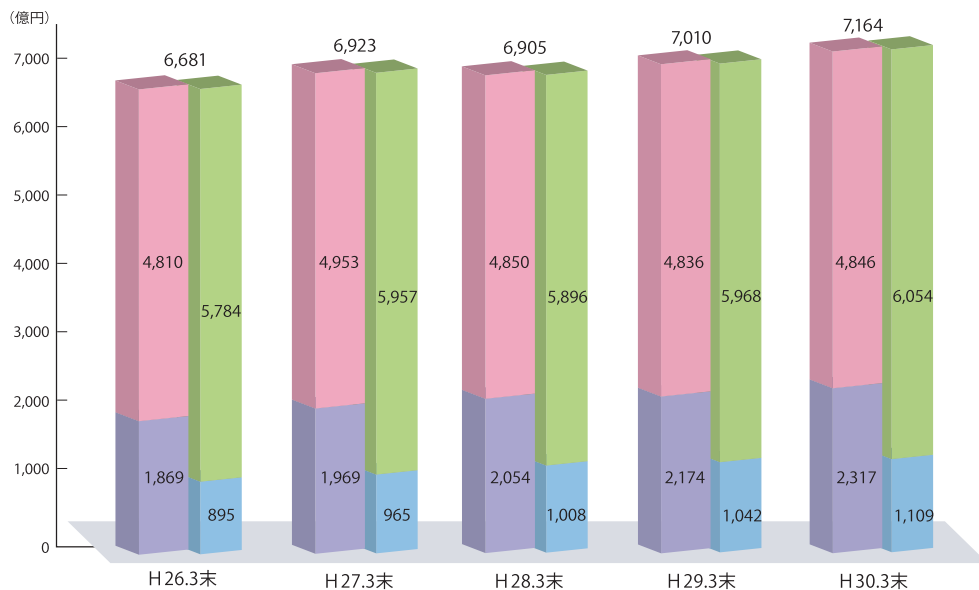
鈴蘭台支店 鈴蘭台駅前地区再開発ビルに入居
平成30年9月オープン予定



加古川支店 平成30年11月オープン予定



〈預金〉



【預金】

預金は、平成29年3月末対比153億円増加し7,164億円となり、期末預金残高は過去最高となりました。

地域密着を重視した営業活動に取り組んでいることにより流動性預金は143億円増加しました。定期性預金については、個人のお客さまのご期待に沿う金利の提供ができなかったこともあり個人定期性預金は6億円減少しましたが、その一方で法人定期性預金は16億円増加し、定期性預金全体で10億円の増加となりました。

また、法人、個人ともに新しいお客さまが増えたこともあり、法人預金は67億円の増加、個人預金は86億円の増加となりました。

低金利が続くなか、できる限りの工夫をこらし、多くのお客さまに喜んでいただけるサービスの提供に努めてまいります。

【貸出金】

貸出金は、新しいお客さまが増えたことにより平成29年3月末対比132億円増加し3,361億円となり、預貸率も引続き上昇傾向にあります。

今後も課題解決型金融に全力で取り組み、適切で円滑な資金提供に努めてまいります。

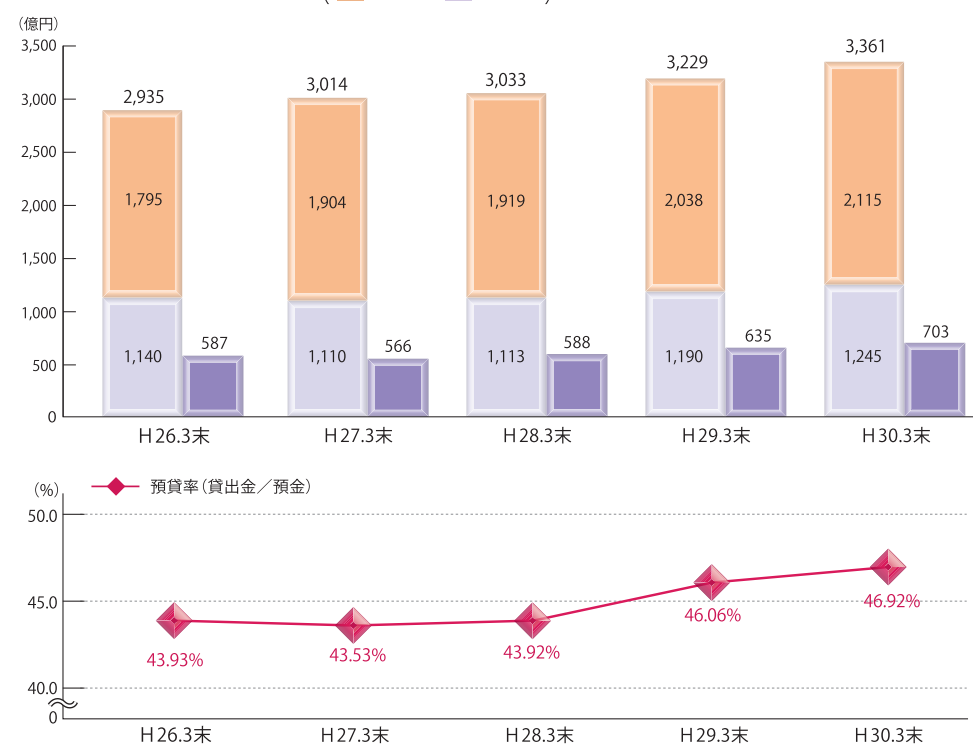
【業種別構成比】

貸出金の業種別構成比の推移をみると、平成29年3月末と比較し、不動産業で1.1%、卸・小売・飲食業で1.0%、建設業で0.4%の増加が見られ、製造業で1.3%、サービス業で0.8%の減少となっています。

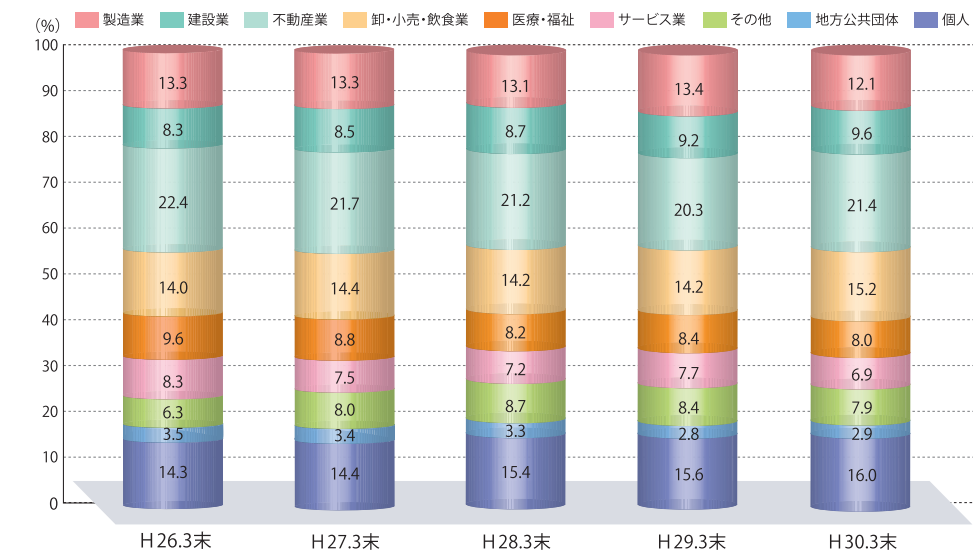
不動産業は増加し製造業は減少していますが、これはお客さまの売上の割合によって業種を見直したためであり、見直しをしなければ、どちらの業種も0.08%の増加となっています。

また、個人向けの貸出金については住宅ローンを中心とした営業活動の強化により0.4%増加しており引き続き増加傾向にあります。今後、お客さまのライフステージに沿った各種ローン商品の充実に努めてまいります。

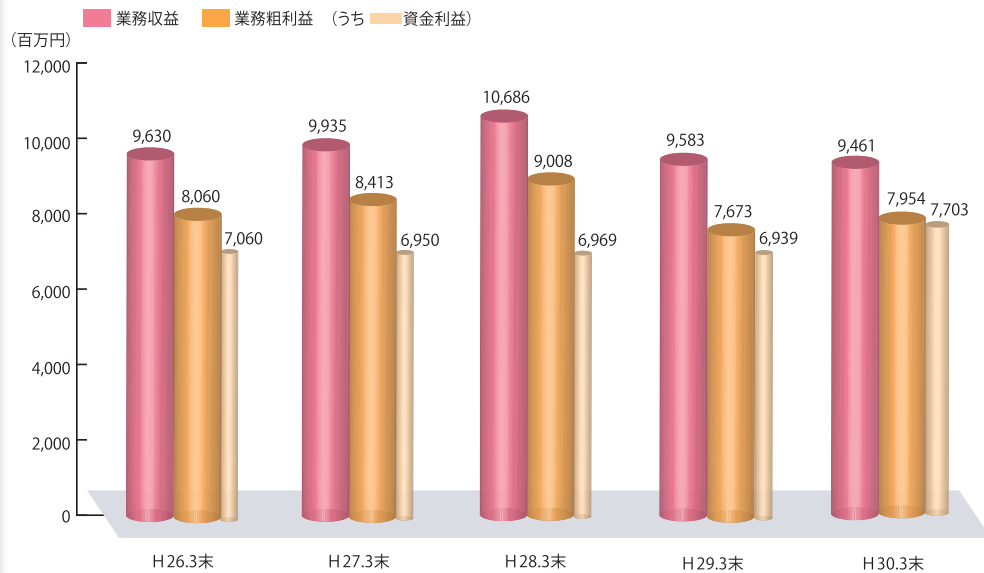
〈貸出金と預貸率〉



〈貸出金の業種別構成比の推移〉



〈業務収益、業務粗利益(うち資金利益)〉



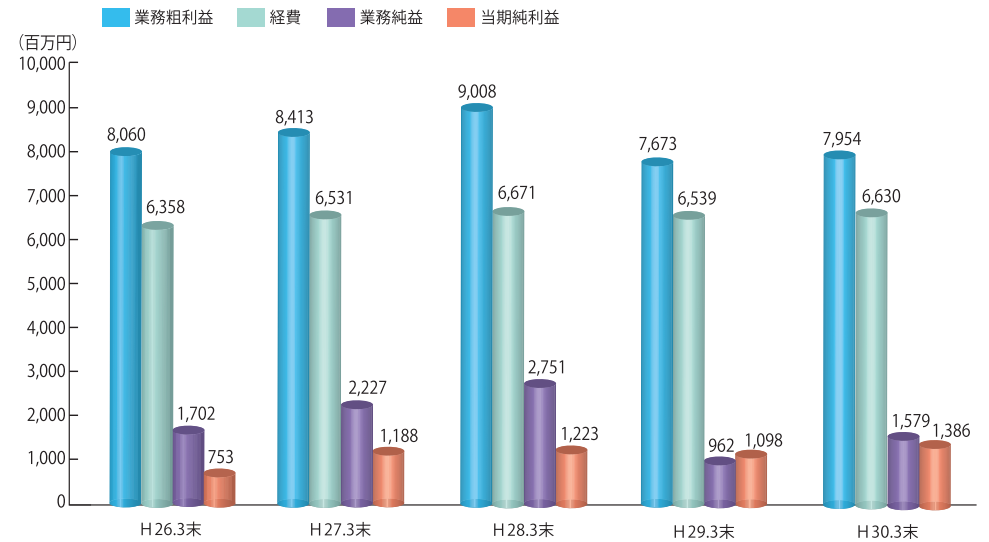
一般企業の売上に当たる業務収益(貸出金利息収入、有価証券等運用収入、役務取引収入等)は、株式や投資信託の受取配当金額が増加したため有価証券等運用収入が増えましたが、有価証券の売却による益出しを控えたことから、前年度に比べて122百万円の減収となりました。

業務粗利益(業務収益－預金利息等の原価)は、業務収益が減ったものの、前年度に比べて預金利息が減少したことから、281百万円の増益となりました。

資金利益(貸出金と有価証券運用から発生する利益－預金利息)は、貸出金利息収入が減少したものの、有価証券利息配当金が増加及び預金利息が減少したことから、前年度に比べて763百万円の増益となりました。

〈業務粗利益、経費、業務純益(業務粗利益－経費等)、当期純利益〉

[参考] 業務粗利益－(経費＋一般貸倒引当金繰入額)＝業務純益

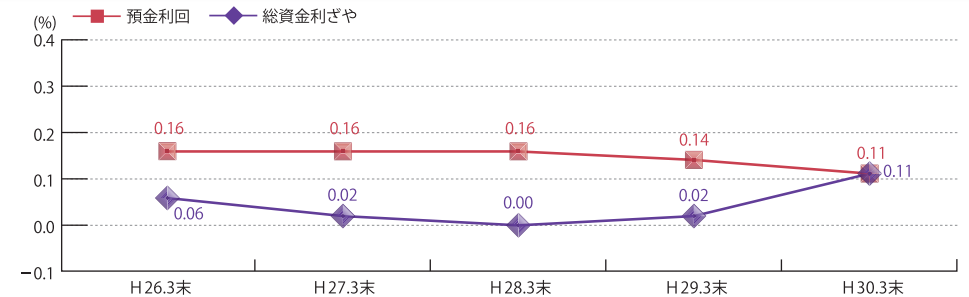
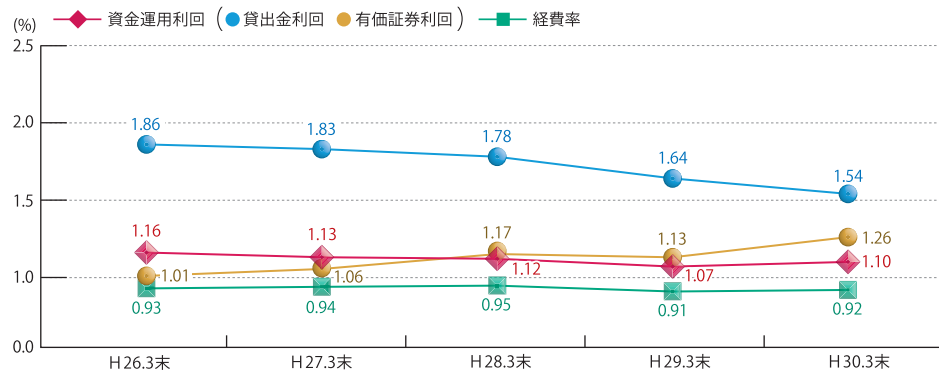


経費は、人材の確保を目的として人件費が増加したことから、前年度に比べて90百万円増加の6,630百万円となりました。

業務純益は、業務粗利益の増益に加え、一般貸倒引当金の戻入れが255百万円あったことから、前年度に比べて616百万円増益の1,579百万円となりました。

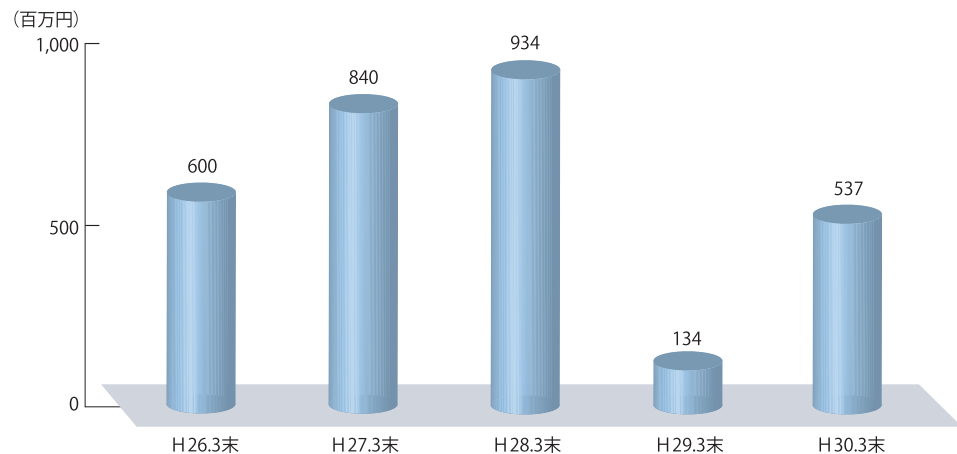
当期純利益は、前年度に比べて287百万円増益の1,386百万円となりました。

〈資金運用利回(貸出金利回＋有価証券利回)、預金利回、経費率、利ざや〉



市場金利の低下に伴い貸出金利回は低下したものの、株式や投資信託の配当金が増加したため有価証券利回が上昇したことから、資金運用利回は前年度より改善し1.10%となりました。資金運用利回が改善し預金利回が低下したことから、総資金利ざやは0.11%と改善しています。これからも一層、収益力の向上に努めてまいります。

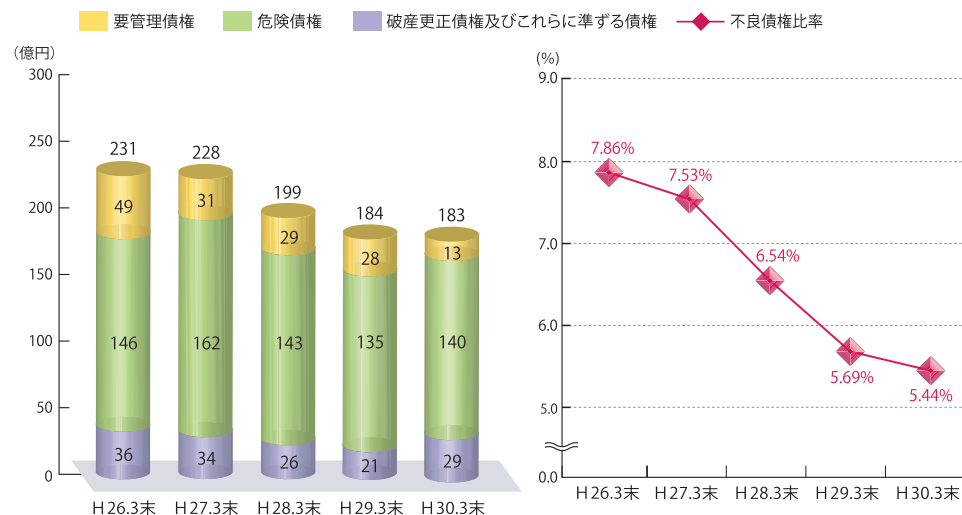
〈貸出金にかかる不良債権処理費用等〉*貸出金にかかる不良債権処理費用等は、一般貸倒引当金純繰入額、個別貸倒引当金純繰入額、債権償却額等の合計額です。



平成30年3月末の不良債権処理費用等は、平成29年3月末に比べて402百万円の増加となりました。これは、新たな不良債権の発生が少なかったものの、不良債権の将来の発生を見越して、積極的に現時点で算定した損失見込額を引当てたためです。

今後も、貸出債権の不良化防止に向けて審査能力やコンサルティング能力の向上に努めるとともに、将来のためにも十分な引当を行ってまいります。

〈不良債権(金融再生法上の開示債権)の内訳と不良債権比率〉



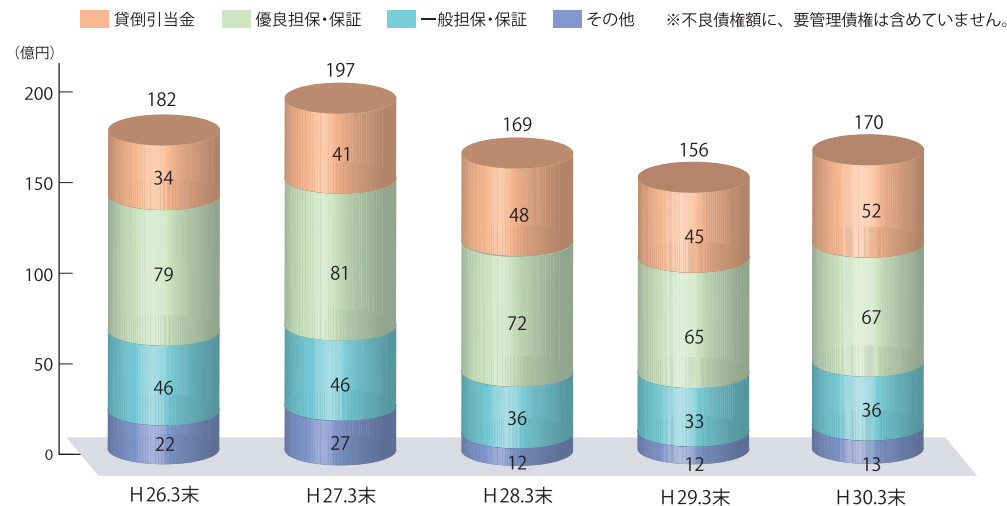
不良債権は、要管理債権、危険債権、及び破産更生等債権に分類されます。

平成30年3月末の不良債権残高は183億円となり、平成29年3月末に比べて99百万円減少しました。また、積極的な融資の取組みにより貸出金が増加したことで、不良債権比率は5.44%と平成29年3月末に比べて0.25ポイント低下しました。

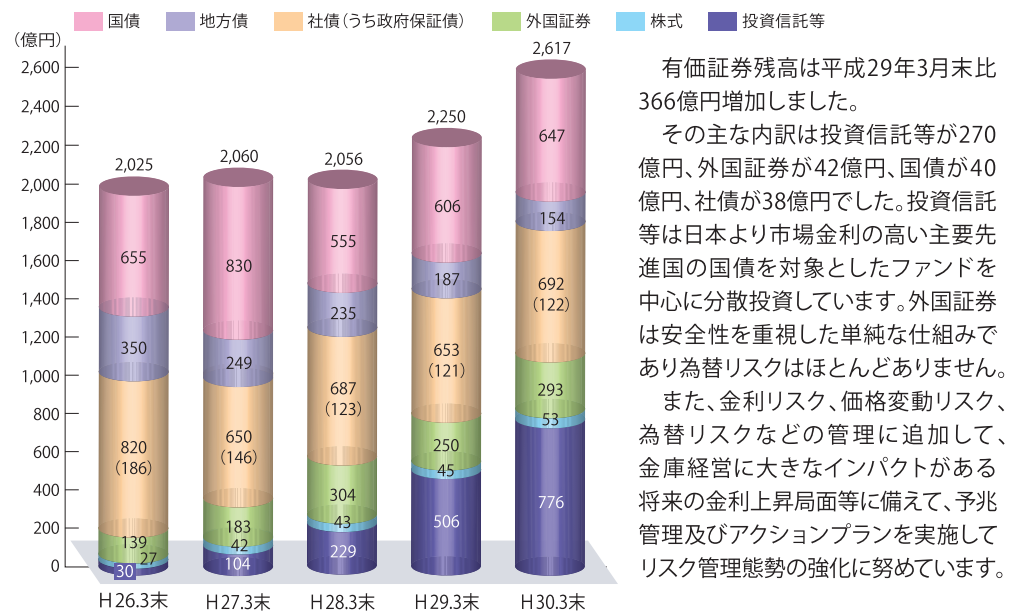
これからも事業性評価や外部支援等を活用してお客さまの経営改善に一体となって取組み、不良債権の減少に努めてまいります。

〈不良債権(要管理債権を除く)の保全状況〉

平成30年3月末現在の不良債権(要管理債権を除く)は170億円ですが、その保全状況は右の通りです。貸倒引当金は52億円引当てています。会計上52億円は損失処理済といえます。優良担保・保証(保証協会保証等)で保全されている額が67億円、一般担保(土地・建物等)・保証で保全されている額が36億円、合わせて104億円は回収が確実であると見込んでいる額です。残りの13億円は、これまでの回収実績等からみて回収可能と見込まれる額です。



〈有価証券の種類別保有状況〉

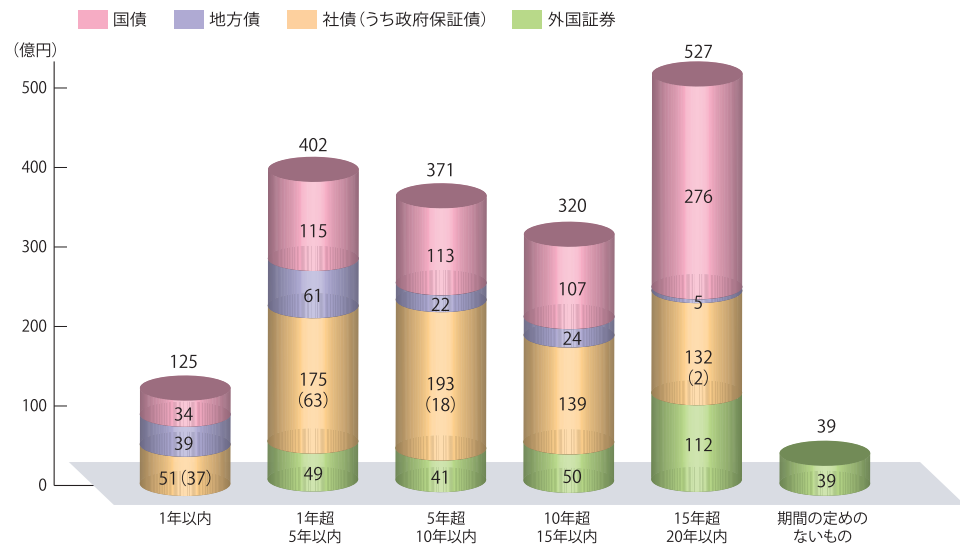


有価証券残高は平成29年3月末比366億円増加しました。

その主な内訳は投資信託等が270億円、外国証券が42億円、国債が40億円、社債が38億円でした。投資信託等は日本より市場金利の高い主要先進国の国債を対象としたファンドを中心に分散投資しています。外国証券は安全性を重視した単純な仕組みであり為替リスクはほとんどありません。

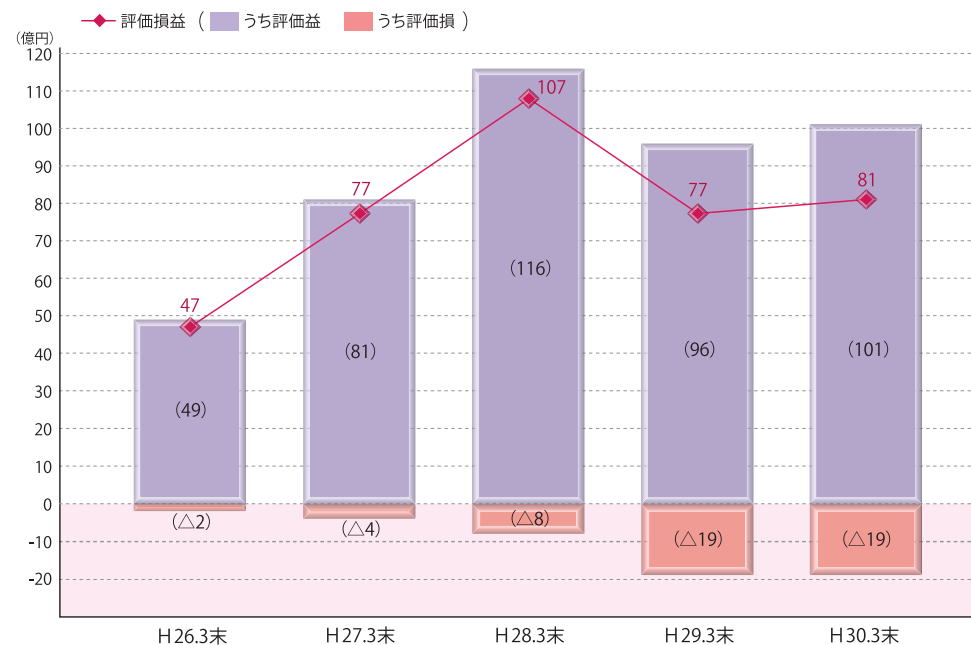
また、金利リスク、価格変動リスク、為替リスクなどの管理に追加して、金庫経営に大きなインパクトがある将来の金利上昇局面等に備えて、予兆管理及びアクションプランを実施してリスク管理態勢の強化に努めています。

〈債券〔償還までの期間別に見た残高〕〉



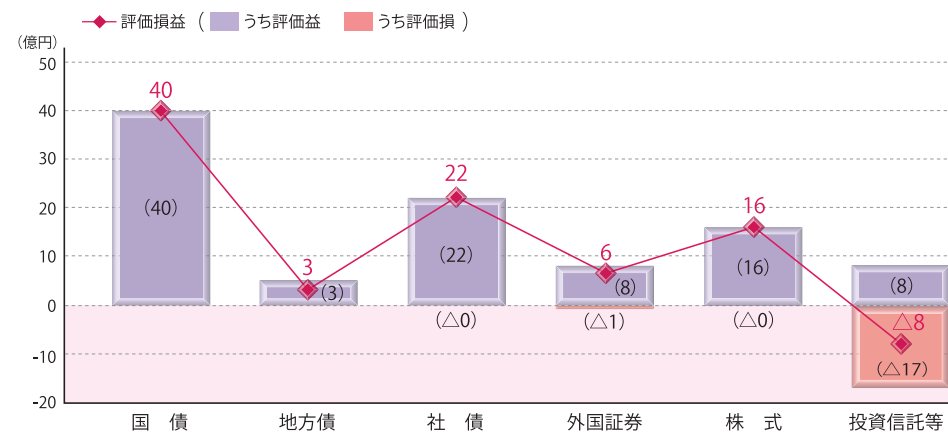
有価証券のうち株式及び投資信託等を除いた債券について、その償還までの期間別に保有残高を示したものです。収益向上のため、期間10年超20年以内の国債、地方債、社債、外国証券にも投資しています。なお、期間20年超の債券への投資は行なっていません。

〈有価証券の評価損益の推移〉



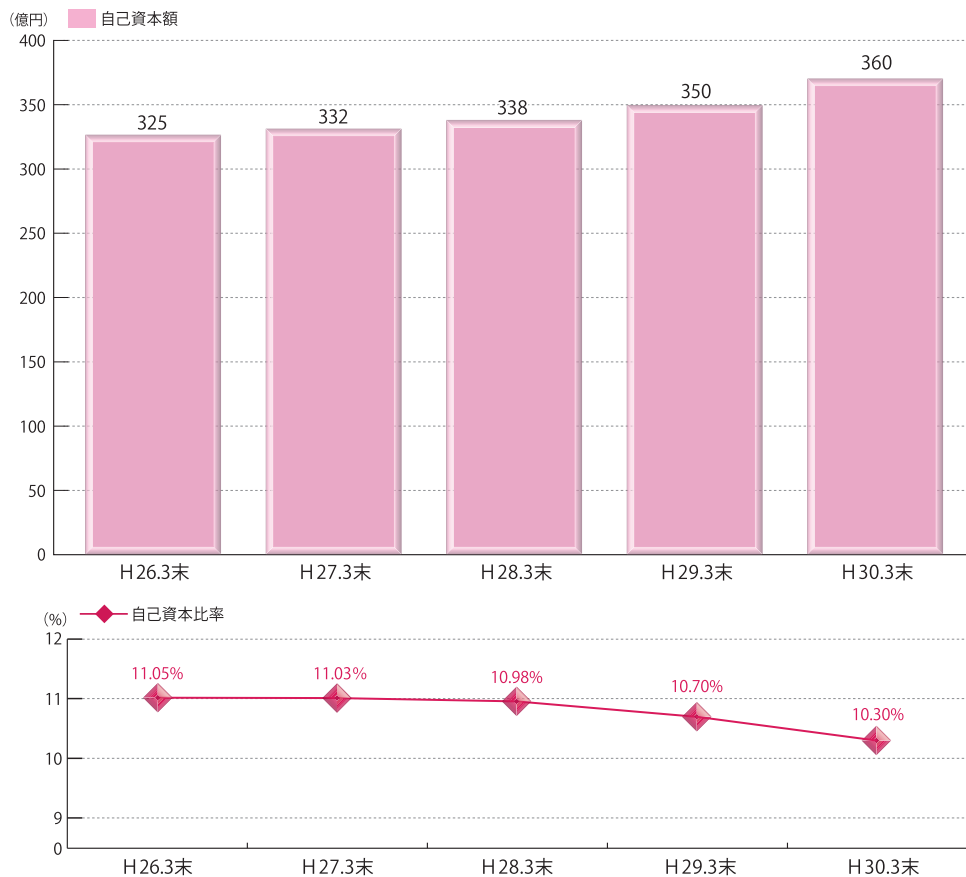
平成30年3月末現在、有価証券の評価損益は101億円、評価損は19億円です。有価証券全体で差引81億円の評価損益となっています。

〈有価証券の種類別の評価損益〉



平成30年3月末現在の有価証券の種類別評価損益を示したグラフです。投資信託等で8億円の評価損となっています。これは、主に米国の金利上昇の影響を受けて米国国債を投資対象とした投資信託で含み損が発生したものです。

〈自己資本と自己資本比率（信用金庫単体）〉



(億円)

	H26.3末	H27.3末	H28.3末	H29.3末	H30.3末
リスクアセット	2,946	3,011	3,082	3,271	3,500

自己資本比率は、平成30年3月末で10.30%となりました。

当金庫の自己資本比率は、自己資本の額が増加したものの貸出金の増加や有価証券運用での分散投資を進めたことからリスクアセットが増加し、前年度に比べて0.40ポイント低下していますが、国内基準である4%を大きく上回り、経営の健全性、安全性を十分に堅持していると考えています。

これからも、事業活動を通じて得る収益によって自己資本の充実を図ってまいります。

地域とともに（行事への参加）



平成29年10月28日(土)～緑が丘支店～

商店街で「緑が丘ハッピーハロウィン」が開催され、当庫職員も参加しました。「トリック・オア・トリート」と唱える仮装した子どもたちにお菓子を配りました。



平成29年11月23日(土)～垂水支店～

第5回神戸垂水まちゼミが開催され、当庫職員も参加しました。毎日の暮らしと切り離せない大切なお金。素早く正確に数えるコツをお教えしました。

地元へ感謝（周年運動）



伊川谷支店開店 30周年

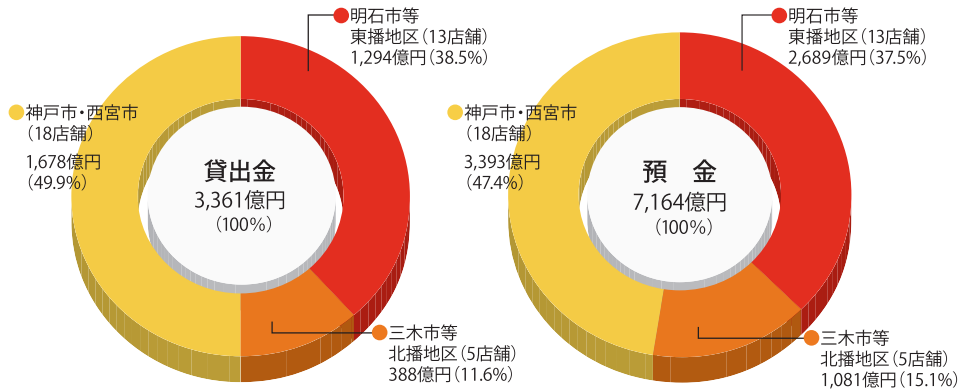
感謝デー実施日
平成30年3月8日(木)、9日(金)



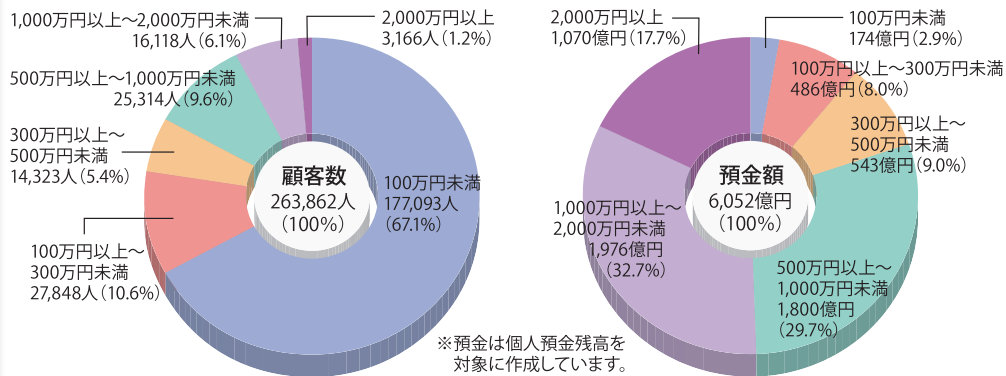
魚住支店開店 20周年

感謝デー実施日
平成30年3月15日(木)、16日(金)

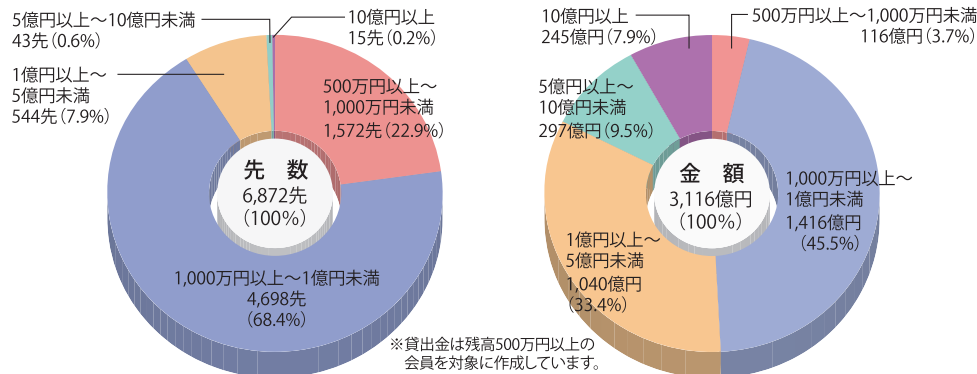
〈貸出金・預金の地域別構成〉（平成30年3月31日現在）



〈預金者のプロフィール〉〈個人預金の残高階層別に応じた顧客数と預金額〉（平成30年3月31日現在）



〈貸出先のプロフィール〉〈貸出金の残高階層別に応じた先数と金額〉（平成30年3月31日現在）



〈信用金庫の中での〈にっしん〉のシェア〉（平成29年9月30日現在）

